瑠璃草
第77巻　第3号
年４回発行
社会福祉法人 慈生会
〒165-0022
東京都中野区江古田３-15-２
ＴＥＬ ０３―３３８７―５５６７
http://www.jiseikai.jp
振替口座　ベタニアの家
００１７０－６－１５３１７

児童養護施設の現状と課題

鈴木　ますみ

フロジャク神父様は、結核患者の子どもたちを収容するナザレットの家の学齢児のため、養護施設東星学園（現在の児童養護施設ベトレヘム学園）をつくられました。児童養護施設の目的は、児童福祉法第四十一条に「保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を必要とする児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設である」と明記されています。特に虐待を受けた児童の入所が増えており、学園の入所も半数が被虐待児です。

平成二十九年十二月現在、社会的養護下にいる児童は約三万八千人で、うち児童養護施設は約二万六千人です。平成二十八年に児童福祉法が改正され、第一条は「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活が保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長並びに発達にその自立が図られることその他の福祉を等しく保証される権利を有する」、第二条は「全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない」と、児童の権利が明確になっています。また、厚生労働省の『児童養護施設運営指針』には、社会的養護の基本理念が「子どもの最善の利益のために」「すべての子どもを社会全体で育む」とあり、これを念頭にベトレヘム学園の支援も行われています。

しかし、地域での児童養護施設への理解は、まだまだだと感じられます。例えば、小四男児は、乱暴な言動があり、同級生が怯え保護者からの苦情が多数学校に寄せられているとのことで、登校から下校まで学園の職員が同行し見守りをしています。問題行動は幼少期の虐待の影響と診断されていて、服薬及び昨年は約五か月入院もしました。また、三月に入所したばかりの小一女児も、学校で他児への暴力があったとのことで保護者から直接苦情があり、現在二人の学校での居場所が奪われかねない事態となっています。この女児もネグレクト（育児放棄）や身体的虐待も疑われ、その影響が十分考えられます。暴力を振って良い理由にはもちろんなりませんが、全て児童の責任では無いことを理解していただきたいのですが、難しい状況です。

虐待は心身の発達に何らかの影響を及ぼすと言われています。入所中の児童で、現在服薬をしているのは全体の二十五％強で、そのほとんどは情緒的な理由です。そのような特性を持っている児童が複数で共同生活をしている状況では、トラブルが日常的に起こり、対応する職員も疲弊して来ます。国や東京都の職員設置基準は見直されて来ていますが、まだまだ足りないのが現状です。

卒園後も、児童養護施設出身で不利益を被ることがあります。高等学校進学率は一般の九十八％に比べて施設児童九十六％と小差ですが、大学進学率となると、一般の五十二％に比べ施設出身者は十二％と、まだまだ大きな差があります。

上級学校に進学をしたい場合は、学費を児童手当やアルバイト代等の貯金と奨学金で賄えても、家賃や生活費を稼ぐためにアルバイトに明け暮れることになります。そのため学校に通えなくなったり勉強が疎かになって、結局中途退学してしまい、貸付の奨学金が多額の借金として残ってしまったケースもありました。なので、現在は貸付型の奨学金はなるべく利用せず、貯金が十分貯まるまで、一度就職を促すこともあります。進学先を選ぶ時も、なるべく子どもの夢を応援したいのですが、就職に有利な学部や手に職を付けられる専門学校に進んだ方が良いのか、難しいところです。

十八歳での自立は、未成年と言うことで他にも様々な困難があります。施設出身への偏見も一部にはあり、部屋を借りる際に保証会社だけではダメで、更に身元保証人を求められたケースがありました。

家賃の負担だけでも軽くするため、進学者限定ですが低家賃の物件を提供してくださる方がいます。更に物件を提供していただける話があり、就職をする児童の他、高校生の自立訓練にも使えるのではないかと検討中です。

施設によっては、独自の奨学金を給付しているところもあり、学園にも卒園生のための基金がありますが、奨学金にまで回らないのが現状です。

児童養護施設児童の現状をご理解いただき、これからもお祈りとご支援を、よろしくお願いいたします。

（ベトレヘム学園施設長）

地域に愛され、皆が成長する施設へ ワークサポートで見えてきたこと

菊池　誠

七月に入り、病院のある清瀬キャンパスは深い緑に包まれる季節を迎えました。お近くにいらした折には、是非構内を散策して頂き、この美しい緑を満喫して頂けたら幸いです。

今回お話します「就労支援」は少し硬い表現のため、私たちの病院では「ワークサポート」と呼んでおります。以下この呼称を使わせて頂きます。

ワークサポートは、社会福祉法人を取り巻く背景の変化の中で、東社協より提唱された「中間的就労」をベースに展開しています。「ブランクが長く働くことへの自信を失ってしまった」、「働きたいけど、なかなか長く続かない」など一般就労に不安を抱く人たちに、回り道でも、少し時間を掛けて働くことに慣れて頂く、自信をつけて頂くことへの支援が中心になります。

（ベランダより見た中庭の光景です）

私たちはこのワークサポートを平成二八年の秋から始め、これまで五人の方々を受け入れてきました。うち二人は今年四月、五月と相次いで私たち病院の職員として採用するに至りました。この成果は、受入現場での十分な「仕事の切出し（＝一定量の仕事の確保）」と支援担当者の粘り強いサポートがあったからこそ得られたのだと思います。

ワークサポートを通して、私たちが気づかされたこと、それは社会が彼（彼女）らから奪い去ったもの、「笑顔」の存在です。サポートを求めて私たちの門をたたいた方々の表情は、最初は決して明るいものではありませんでした。しかし、活動回数を重ね、自信をつけていかれるにつれ、彼（彼女）らと支援担当者との間のやりとりの中で自然と「笑顔」が生まれることに気付きました。自己責任論の名の下で、彼（彼女）らから私たちの社会は居場所を奪っただけではなく、「笑顔」までも奪ってしまっていたのです。私たちはこの事実を謙虚に受け止めねばならないと思います。

ワークサポート三年目の今年、私たちは改めてこの取組の意義を確認し、その内容を成熟させていきたいと考えています。ワークサポートを「地域への貢献」と位置付け、この地域に住む方々にこの取組みを広く訴え、一人でも多くの方の支援へ結び付けたいと考えます。そして、ここに働く職員にとっては、「仕事の切出し」を通じて一人でも多くの職員が関われるように工夫と努力を重ねていきます。仕事を分け合い、一緒に働くことで、自分とは違う人たちの存在を認め、大切にしていく風土を、この職場に根付かせていきたいと思います。

（リネンたたみの作業の一コマ。お二人の女性が活躍中です）

そして最後に、改めて夢を語らせて頂ければ、このワークサポートの取組を慈生会全体に広げ、「ワークサポートと言えば慈生会」と言われるような法人・施設に成長し、発展していければと切に願います。最初の一歩は小さくとも、施設が互いに手を取り合い着実に前進することで、その道は拓けるのだと信じています。

（ベトレヘムの園病院事務部長）

ベタニアの家　永年勤続表彰者

（三十年表彰）

マ・メゾン光星　面川　浩美
マ・メゾン光星　本間　京子
聖ヨゼフ老人ホーム　澁谷　雅洋
本部事務局　鳥海　典代

（二十年表彰）

ナザレットの家　栗原　真理
徳田保育園　黒木　悦子
聖家族ホーム　高橋　創一
慈しみの家　古屋由美子

（十年表彰）

ベトレヘム学園　岡田　国枝
聖家族ホーム　清田みづほ
聖ヨゼフ老人ホーム　須崎早也香
聖ヨゼフ老人ホーム　櫻井　俊弘
聖ヨゼフ老人ホーム　竹内　直樹
ベタニアホーム　岡崎　武司
ベタニアホーム　近藤　由紀
ベタニア・デイ・ホーム　水谷　和幸
ベトレヘムの園病院　河野妃登美
ベトレヘムの園病院　廣瀬　孝洋
ベトレヘムの園病院　大﨑佐智子
訪問看護ステーション慈生会中野ケアプランセンター　小林　志保
　坂本　真理

『ベタニアの家チャリティーコンサート』開催のお知らせ

今年もベタニアの家チャリティーコンサートを開催いたします。皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

日　時　平成三十年十一月十一日(火)
開場　午後五時半
開演　午後六時

場　所　練馬文化センター(小ホール)

出　演　鈴木直樹&スウィングエース

チケット　三千円（予定）

チケット&申込問い合わせ
（福）慈生会 法人本部事務局内
ベタニアの家チャリティーコンサート実行委員会

主　催　ベタニアの家チャリティーコンサート実行委員会

―追悼―
ありがとう　市川神父様

シスター・伊藤　由紀子

「おまえ　修道院に　入れ…」
「いいえ　入りません！…」

一九六四年五月　初めてたどり着いた、小平教会で初対面の神父様との会話です。

この年四月、秋田市から小平市に家族と共に引越しを済ませ、教会を探しバス数分の所にある立川教会を訪ねました。しかし、地域的に小平教会所属とのことで、丁寧に地図を書いていただきました。私はひどい方向音痴で、バス　電車と乗り継ぎ、やっと着いた小平教会での神父様との思い出です。

東京に住むのは初めてのこと、数ヶ月の間都内を観て歩いていましたが、働いてみようかと思い、職業安定所の紹介で尋ねた幼稚園での採用が決まりました。しかし、新教のキリスト教会所属の幼稚園でしたので、なんとなく釈然としないため、神父様に相談に行きましたところ

「いま、紹介できる所があるから行こう…。さあ　乗って…」

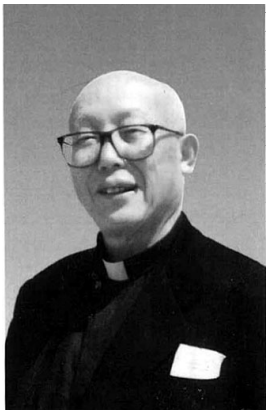
言われるままに乗車し行き着いた所が東星学園でした。

そこで初めて当時の校長様との面談となり、「うちに入会しませんか？」のおことばに「いいえ、修道院へは入りません…」とお返事したのを思い出します。しかし、主の計らいは神父様を通してベタニア会へと導かれ、東星学園への派遣を頂き現在に至っています。

今も天国で、率直で慈しみ深い眼差しをもって主と共に、「おまえしっかりと修道生活を心底大切に生きるんだよ…」と呼びかけておられる気がするのです。

追記

二〇一八年四月二九日
九四才で帰天されました。



長年、学校法人東星学園ではミサ、社会福祉法人慈生会ベトレヘム学園では、毎年、クリスマスケーキのプレゼントをいただいておりました。

ベタニア修道女会

社会福祉法人　慈生会
平成二十九年度　決算報告

六月六日の理事会および六月二十一日の評議員会で、平成二十九年度の決算が承認されましたので、その要旨を報告いたします。

平成29年度決算報告

法人全体の貸借対照表の要旨　（平成30年３月31日現在）　単位：千円

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,717,611	流動負債	1,122,162
固定資産	6,614,144	固定負債	810,952
基本財産	3,806,011	負債合計	1,933,114
その他の固定資産	2,808,133	基本金	1,630,347
		国庫補助金特別積立金	1,668,467
		その他の積立金	1,830,066
		次期繰越活動収支差額	2,269,761
		純資産合計	7,398,641
資産の部合計	9,331,755	負債・純資産の部合計	9,331,755

資金収支計算書の要旨　（平成29年4月1日～平成30年3月31日）単位:千円

事業区分	収入	支出	差額
社会福祉事業区分	5,370,653	5,555,905	－185,252
公益事業区分	181,692	177,106	4,586
収益事業区分	0	0	0

事業活動計算書の要旨　（平成29年4月1日～平成30年3月31日）単位:千円

事業区分	収入	支出	差額
社会福祉事業区分	4,215,641	4,148,177	67,464
公益事業区分	171,877	169,621	2,256
収益事業区分	0	0	0

財産目録の要旨　（平成30年3月31日現在）
単位:千円

区分	金額
資産の部	9,331,755
基本財産土地	(592,717)
基本財産建物	(3,213,294)
負債の部	1,933,114
差引純資産	7,398,641

ベタニアの家

七月行事予定

1日☆ペトロ岐部と一八七殉教者
5日　東星学園　中学・高校
　イブニング説明会
12～13日　慈生会　法人幹部研修
　指導　幸田和生司教
16日　《海の日》
21日　徳田保育園　夏まつり
22日　ベタニア
　ミッションセンター主催
　「旧約聖書の魅力」
　浦和洋司氏
　（カトリック神学院講師）
25日　聖ヨゼフ老人ホーム　納涼祭
26日　慈生会新任職員研修
　指導　天本昭好神父
27日　東星学園　中学・高校
　イブニング説明会
27日　ベタニアホーム　納涼大会

八月行事予定

1日　聖家族ホーム　納涼祭
6日～16日☆日本カトリック
　平和旬間
11日　《山の日》
11日☆平和を願うミサ
　（東京カテドラル）
15日☆聖母の被昇天
19日　ベタニア
　ミッションセンター主催
　「デゼの歌と祈りの集い」

九月行事予定

2日☆被造物を大切にする
　世界祈願日
8日☆聖マリアの誕生
11日　二代目理事長
　ミルサン神父様　帰天日
14日☆十字架称賛
15日　聖家族・聖ヨゼフホーム
　敬老の集い
17日　《敬老の日》
17日　ベタニアホーム　敬老の集い
22日　東星学園合唱団
　定期演奏会
　（清瀬けやきホール）
23日　《秋分の日》
23日☆世界難民移住移動者の日
24日　東星学園　中学・高校
　学校説明会
25日　慈生会中堅の心構え研修
　指導　晴佐久昌英神父
29日　ベタニア
　ミッションセンター主催
　「聖書のみことばを共に考える」
　小林由加氏
　（徳田教会信徒・
　カトリック学校教諭）

『那須地区　光星祭』開催のお知らせ

今年も那須地区光星祭を十月に開催することになりましたのでお知らせ致します。
皆様のご来場をお待ちしております。
開催日　平成三十年十月一四日（日）
時間　午前十時～午後二時（予定）
場所　栃木県那須郡那須町大字豊原乙一一八九　（マ・メゾン光星）
連絡先　0287―77―1013

『中野地区　ふれあいバザー　徳田まつり』開催のお知らせ

今年も中野地区ふれあいバザー・徳田まつりを十月に開催することになりましたのでお知らせ致します。
皆様のご来場をお待ちしております。
開催日時　平成三十年十月二十一日(日)　午前十一～午後二時（予定）
場所　慈生会中野地区
連絡先　03―3387―5567　ふれあいバザー実行委員会
主催　徳田まつり実行委員会

『清瀬地区　ふれあいバザー　どんぐり祭・健康まつり』開催のお知らせ

今年も清瀬地区ふれあいバザー・どんぐり祭・健康まつりを開催することになりましたのでお知らせ致します。
皆様のご来場をお待ちしております。
開催日　平成三十年十一月三日　（土・祝）
時間　午前十時～午後二時
場所　慈生会清瀬地区ふれあいバザー実行委員会（042―491―2528）
どんぐり祭実行委員会（042―491―2529）
主催　健康まつり実行委員会（042―492―2525）

編集後記

季節の代わり時は体調を崩す方も多いようです。ベタニアホームでもご帰天される方が通常より多かったです。そんな中、一〇七歳の方のご帰天の様子（朝食を食べていつもと変わらない様子で息を引きとられました）には感動と同時にうらやましさも覚えました。
梅雨に入りました、より一層、皆さんも体調管理に気を付けていただければと思います。
（中村　英男）

先月研修の付き添いで久しぶりに那須にある聖ヨゼフ山の家へ行かせていただきました。珍しく二日間とも好天に恵まれたおかげでマ・メゾン光星の敷地の境界線沿いにある「せせらぎの小道」を散策することができました。数日前に熊が出たとのことで鈴をつけてのおよそ十五分の道のり。神様が私たちに下さった自然のお恵みを体中に浴びながら心地よいひと時を味わえたことに感謝！
（原田　直人）

去る四月二十九日市川嘉男神父様、五月三十一日川原謙三神父様が天に召されました。司祭生活の晩年清瀬、中野で福音宣教の日々を過ごされ、多くの出会いがありました。市川神父様の東星、ベッレヘム両学園への思い、川原神父様演出の老人ホームでの聖劇ミサを思い出します。神父様方が蒔かれた種が多くの実を結びますように。神様に賛美と感謝！
（Sr菊池　啓子）